

(公印省略)  
令和6年6月27日

川西市議会議長  
大崎 淳 正 様

総務生活常任委員長  
田 中 麻 未

# 委員会報告書

本委員会に付託の事件は、審査の結果、別紙のとおり決定したので、会議規則第101条の規定により報告します。

総務生活常任委員会における審査の経過と結果について（審査日：令和６年６月１８日）

１．議案第３３号 兵庫県市町村職員退職手当組合理約の一部を変更する協議について

議案の概要

本案は、兵庫県市町村職員退職手当組合事務所の位置の変更に伴い、兵庫県市町村職員退職手当組合理約の一部を変更する協議について、議会の議決を求めようとするもの。

質疑の概要

問 当該組合事務所の位置を変更することとなった経緯を伺いたい。

答 今回の変更は、現在の事務所の所在地である兵庫県民会館において耐震診断が実施されることに伴い、事務所を移転することによるものである。

特記事項 なし

審査結果 原案可決（全員賛成）

２．議案第３４号 消防ポンプ自動車の買入れについて

議案の概要

本案は、南消防署に配備している消防ポンプ自動車が、今年度をもって購入後１５年が経過し更新時期となったため、新たに買入れしようとするもの。

質疑の概要

問 今回、購入しようとする車両の新たな機能などの特徴について伺いたい。また、本案は、現在、南消防署に配備している消防ポンプ自動車が、更新基準である１５年を経過したことから更新しようとするものと認識しているが、当該車両の配置予定や処分方法について伺いたい。

答 今回購入する車両には、新たな資機材として電動アシストホースカーを積載しており、これは消防用ホースを運搬するための資機材に電動アシスト機能が搭載されたもので、車両の通行が困難な狭隘地区においても牽引をサポートするなど、隊員の負担を軽減し迅速な消火活動が可能になるものと考えている。

また、本車両は久代出張所に配置予定であり、これに伴い消防各署所の車両のローテーションを行う考えである。なお、現在保有している消防ポンプ自動車のうち、最も古い車両の処分については、寄贈や売却、廃車を含め、今後検討していきたいと考

えている。
<p>問 今回、水槽を装備していないコンパクトな車両を購入しようとしている点について、消防ポンプ自動車として十分な性能を有しているのか、市の見解を伺いたい。</p> <p>答 今回の車両は、配備を予定している久代出張所管内に狭隘地区があることから、現場の職員と検討した結果、コンパクトなものにすることとしたもので、これにより災害現場に車両が近づけることから、迅速な初動対応が可能となると考えている。また、水槽がないことについては、資機材の積載スペースを確保できることから、必要な性能を有した消防ポンプ自動車と考えている。</p>
特 記 事 項 配付資料あり（１ 入札結果について ほか）
審 査 結 果 原案可決（全員賛成）

### ３．議案第３５号 高規格救急自動車の買入れについて

<p>議案の概要</p> <p>本案は、北消防署清和台出張所に配備している高規格救急自動車が、今年度をもって購入後８年が経過し更新時期となったため、高度救命処置用資機材とともに買入れをし、救急体制の充実を図ろうとするもの。</p>
<p>質疑の概要</p> <p>問 令和５年刊行の消防年報によると、現在本市が所有する高規格救急自動車は全て同じメーカーの車両であり、今回購入した車両も同一メーカーのものであるが、危機管理の観点から、昨今のリコール問題等を考慮した上で他社の車両を購入することを市は検討したのか伺いたい。</p> <p>答 危機管理の観点から、所有する車両のメーカーを分散させるといった考えは理解するものの、国内で認定されている高規格救急車を製造しているメーカーが限られていることから、今回は、現在保有する車両と別のメーカーを指定して購入するといった検討はしておらず、あくまでも公正な入札制度による価格競争を経て購入する考えである。</p>
特 記 事 項 配付資料あり（１ 入札結果について ほか）
審 査 結 果 原案可決（全員賛成）

4．議案第40号 川西市税条例及び川西市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について

<p>議案の概要</p> <p>本案は、令和6年3月30日に公布された地方税法等の一部を改正する法律の制定に伴い、専決処分により条例改正を行った項目以外について、条例の一部を改正しようとするもの。</p>
<p>質疑の概要</p> <p>問 今回の税制改正に伴う本市の令和6年度予算への影響について伺いたい。</p> <p>答 本案は、地方税法の改正に伴い条例の一部を改正しようとするものであるが、引用規定の削除や引用条項の改正などの規定の整理を行うほか、本市では対象となる資産がないものに係る内容であることから、令和6年度予算には影響はないものである。</p>
<p>特記事項 配付資料あり(川西市税条例及び川西市都市計画税条例の一部を改正する条例案要旨)</p>
<p>審査結果 原案可決(全員賛成)</p>

5．議案第41号 令和6年度川西市一般会計補正予算(第1回)

<p>議案の概要</p> <p>第1表 歳入の全部。歳出第2款総務費。第6款農林業費。第9款消防費。</p> <p>第2表 繰越明許費補正</p> <p>第4表 地方債補正</p>
<p>質疑の概要</p> <p>(1) 第1表 歳入</p> <p>第22款 諸収入</p> <p>問 他団体負担金及び助成金において、加茂井堰維持管理経費負担金として82万4000円を計上している点について、当該施設の維持管理経費は池田市との間で負担割合を定めていたと認識しているが、その負担割合の妥当性について、市の見解を伺いたい。</p> <p>答 当該施設の維持管理経費の負担割合については、平成16年に国土交通省から施設の移管を受けた際に、本市が農業用水として年間のうち7か月利用していること</p>

から１２分の７を、池田市が残りの１２分の５を負担することとなっている。これまでも、池田市とは負担割合を見直すことについて協議を重ねてきており、今後も引き続き協議をしていく考えである。

( ２ ) 同 歳出

第 ２ 款 総務費

問 みつなかホールの水損事故に係る施設修繕費用の一部を募るためのチャリティーイベントを開催する実行委員会の負担金として、文化振興事業で１００万円を計上している点について、当該イベントの内容や開催時期等を伺いたい。

答 当該負担金については、みつなかホールの水損事故に関して１００万円の寄附があったことから、みつなかオペラの指揮者の方がチャリティーイベントを実施するため立ち上げた実行委員会に活用してもらう考えであったものである。しかしながら、みつなかホールにおいて空調設備の故障が発生したことから、今後の詳細は未定であるが、予定していた９月における開催は困難な状況と認識している。

問 戸籍事業において、戸籍の氏名に振り仮名を記載するためのシステム改修委託料として２３５万４０００円を追加している点について、その詳細を伺いたい。

答 今回のシステム改修については、戸籍法改正に伴い、戸籍の氏名に振り仮名を記載するため、本籍地の市区町村から記載予定の振り仮名を記載した通知を送付する必要があることから、その送付に必要なデータ作成及び出力に係るシステム改修を行おうとするものである。

第 ６ 款 農林業費

問 農業振興事業において、加茂井堰の漏水対策工事实施のための工事請負費として１９７万６０００円を追加している点について、近年では、経年劣化等による漏水等が複数回発生していると聞き及んでいることから、市としての点検状況を伺いたい。

答 加茂井堰に対しては、本体、放流警報装置、水系に関する保守点検を、それぞれ毎年度４回実施している状況である。

第 9 款 消防費

問 新北消防署整備事業に係る設計業務委託料として 5 8 4 0 万円を計上している点について、配付資料によると、ヘリポートを地上に設置する予定となっているが、高さ制限によるものかを含め、屋上への設置を選択しなかった理由を伺いたい。

答 地上ヘリポートは屋上ヘリポートと比べ、ヘリから救急車への移動が容易であるなどの利点があるとともに、屋上に設置するには地上の場合と比較しておおむね 3 倍程度の費用がかかることが判明している。また、本施設の高さは約 8 メートルと予定しており、高さ制限である 1 2 メートルの範囲内となっているが、高さ制限がある中でヘリが離発着することから周辺環境への影響も考慮し、地上への設置を選択したものである。

問 同整備事業において、配付資料によると、当該施設を北部地域の防災・消防・救急活動拠点としての庁舎と位置付けているが、防災に関して、具体的にどのような拠点として整備するのか、市の考えを伺いたい。

答 当該施設には、現在の北消防署にある水防資機材を一旦備えるとともに、ヘリポートも整備する予定としており、山間部や、近隣で整備が予定されている大型物流施設において火災等の災害が発生した場合においても対応が可能な防災拠点として整備する考えである。

( 3 ) 第 2 表 繰越明許費補正

質疑なし

( 4 ) 第 4 表 地方債補正

質疑なし

特 記 事 項 配付資料あり（新北消防署整備事業の概要について）

審 査 結 果 原案可決（全員賛成）